

## 腸管出血性大腸菌に注意!!

平成28年8月、千葉県と東京都の2か所の老人ホームで、腸管出血性大腸菌O157による集団食中毒が発生し、10名の方がお亡くなりになりました。原因食品は、未加熱の野菜調理品(きゅうりのゆかり和え)でした。

### <食中毒を予防するために>

- 調理前、食事前には、手をしっかり洗いましょう。
- 生野菜などの非加熱食品や調理器具は、よく洗浄し、必要に応じて消毒しましょう。
- 食肉類は中心部までよく加熱して食べましょう。(腸管出血性大腸菌は、75℃1分以上の加熱で死滅します。)
- 調理食品はなるべく早く食べ、長時間室温放置せず、冷蔵庫や冷凍庫に保存しましょう。



### 指定難病の申請窓口が変わりました!

平成29年度より、申請窓口が健康生活支援課から地域保健福祉課に変わりました。

また、更新申請は7月からとなりましたので、申請される際には御注意ください。

申請以外にも御相談を受け付けておりますので、ぜひ御利用ください。

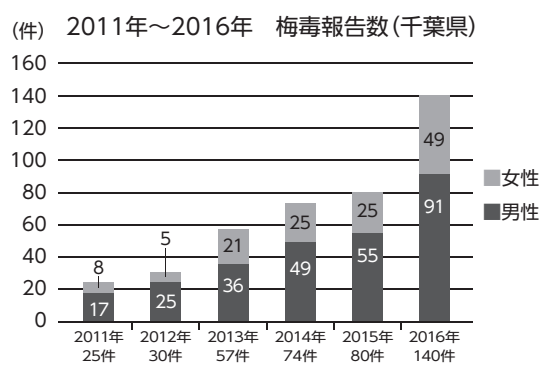
問い合わせ先：地域保健福祉課

# STI(性感染症)・HIVは早期発見・治療が大切です!

近年、全国的に梅毒患者が増加しており、県内の2016年の報告数は、2011年の5倍以上の140件でした。

梅毒は治療しないで放置しておくと、神経症状など重大な病気へ進行するほか、感染しているとHIV(エイズウイルス)など他の性感染症にもかかりやすくなることなどから注意が必要です。

早期発見のため、感染が心配な方は検査を受けましょう。症状がある場合は、早めに医療機関に受診しましょう。



☆千葉県の健康福祉センター(保健所)では、匿名・無料でHIV、梅毒、性器クラミジア、B型肝炎、C型肝炎検査を実施しています。(HIV、梅毒、B型肝炎、C型肝炎検査は血液検査、性器クラミジア検査は尿検査になります。)

☆詳しくは

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/aids/>

または



千葉県のエイズ等相談・検査日程

☆夷隅健康福祉センターの検査については裏表紙をご覧ください。

## 薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

薬物乱用とは、社会的常識を逸脱して麻薬や覚せい剤、大麻、危険ドラッグといった薬物を使うことです。たとえ1回だけでも乱用に当たります。

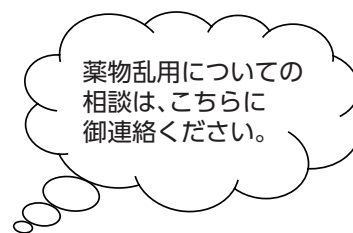
薬物の乱用は健康に悪い影響を及ぼし、不安や被害妄想といった症状が現れます。またその症状である幻覚や妄想によって、殺人や放火などの重大な犯罪を引き起こすこともあります。

**覚せい剤や麻薬、大麻、危険ドラッグなどの薬物の乱用はあなたの健康、あなたの周りの社会に計り知れない害悪をもたらします。絶対に使わないでください!!!**



公益財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センター

相談機関		電話番号
千葉県庁薬務課		043-223-2620
県警少年センターヤング・テレホン		0120-783-497
県精神保健福祉センター(相談専門)		043-263-3893
夷隅健康福祉センター(保健所)		0470-73-0145
最寄りの警察署	勝浦警察署	0470-73-0110
	いすみ警察署	0470-62-0110



覚せい剤



大麻



MDMA

# これから犬猫を飼う皆様へ

動物を飼うということは命を預かるということです。

「かわいいから」という安易な考えで動物を飼い、都合が悪くなるとその命を捨てる、飼うことをあきらめるといことは絶対にしてはいけません。

最近では自分自身が年を取り、散歩に行けなくなった、力が強く引っ張られてしまい怪我をした、子犬から飼い始めたが思ったより大きくなってしまった、などの理由で引き取ってほしいという電話が多く寄せられています。

自身で管理できなくなるなど、万が一を考えて、代わりに管理してくれる人を探しましょう。

また、ペットとして迎えたその日から、その命を管理、コントロールできるのは飼い主だけです。安易に生ませたり、繁殖するのを放置したりしてはいけません。

繁殖するのを放置していると、適切な世話が行き届かず、糞尿等の汚物が放置され、周辺環境が悪化してしまいます。悪臭や鳴き声などの問題が発生し、近隣住民にも大きな迷惑をかけることになります。

それだけでなく、動物の病気が発生し、その発見が遅れることに繋がります。

また飼い主本人や、家族にとっても、経済面や時間的に負担を抱えることになり、人も動物も不幸にさせてしまいます。ペットをかわいいと思うのであれば、その動物の事を考え、適切な飼養ができるよう、繁殖制限をするために不妊去勢手術することをおすすめします。

以上のことについて動物を飼ってからはもちろん、飼う前にも考えましょう。

## 蚊媒介感染症（蚊に刺されて感染する病気）に注意しましょう！

蚊媒介感染症とは病原体を持つ蚊に刺されることにより感染する病気の総称で熱帯・亜熱帯地域では広く流行しています。

日本で発生、または持ち込まれる可能性が高い疾患として、ウエストナイル熱・ジカウィルス感染症・チクングニア熱・デング熱・日本脳炎・マラリアの6疾患があります。

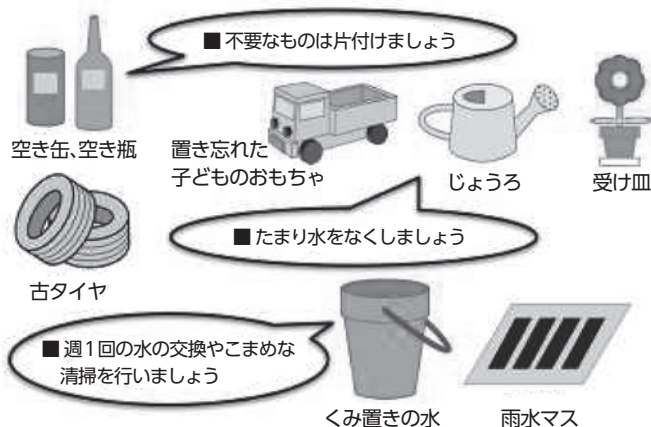
これらの感染を避けるためには蚊に刺されない対策と蚊を発生させない対策が重要です。



### 【蚊に刺されないために】

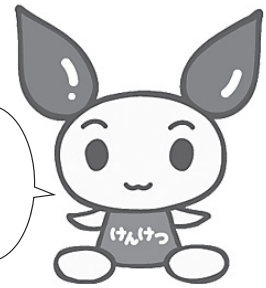
- \*長袖・長ズボンを着用しましょう。
- \*虫よけスプレーや軟膏などを塗りましょう。
- \*殺虫剤や蚊取り線香を使いましょう。

### 【蚊を発生させないために】



# 献血への協力をお願いします！

けんけっちゃん



よろしくち。

夏季は献血者が減少し、血液が不足しがちになります。

血液は、まだ人工的に造ることも、長期保存もできません。そのため、輸血に必要な血液を確保しておくためには、絶えず誰かの血液が必要となります。

毎年7月は「愛の血液助け合い運動」月間です。安定的な血液製剤の供給のために、献血への御理解・御協力をお願いします。

7月～8月の管内献血バスのスケジュールは下記のとおりですので御協力をお願いいたします。

日程	場所	時間
平成29年7月4日(火)	いすみ大原保健センター	10:00～11:45 13:00～15:30
平成29年8月17日(木)	大多喜町保健センター	10:00～11:45
	大多喜病院	14:00～16:00
平成29年8月25日(金)	勝浦市役所	10:00～11:45
	塩田病院	14:00～15:45



★献血バスのスケジュールは変更することがございますので、夷隅健康福祉センターのホームページも御覧ください。

<夷隅健康福祉センターホームページはこちら

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kf-isumi/>>

## 平成29年度健康相談・検査業務日程表

事業名	実施日	受付時間	担当課	備考
精神保健福祉相談 (心の健康相談)	毎月第1、第3木曜日	午後2時～ 午後3時30分	地域保健福祉課	予約制
DV相談	電話相談 月曜日～金曜日 来所相談 毎週水曜日(原則予約)	午前9時～ 午後5時	地域保健福祉課	専用電話 0470-73-0801
障害のある人への 差別に関する相談	月曜日～金曜日	午前9時～ 午後5時	地域保健福祉課	専用電話 0470-73-4630
難病相談事業 (個別相談・つどい等)	病名により開催日が 異なります。 (対象者に通知)	—	地域保健福祉課	対象者に通知
結核接触者健診 管理検診	随時	—	健康生活支援課	対象者に通知
被爆者健診	年2回	午後1時30分～ 午後2時30分	健康生活支援課	対象者に通知
エイズ相談 HIV抗体検査 (無料・匿名)	毎月第1・第3月曜日	午前9時30分 ～午前11時	健康生活支援課	予約制
肝炎検査 (B型肝炎・C型肝炎) (無料・匿名)	毎月第1・第3月曜日	午前9時30分 ～午前11時	健康生活支援課	予約制
腸内細菌検査(検便) (有料)	第2・第3・第4火曜日 (休前日は除く)	午前9時～ 午前11時	健康生活支援課	

※実施日は、休日及び年末年始は除く